

ネットイーグル（福岡市、祖父江久好社長）は、非住宅木造プレカットCAD「XF15」に対応する構造計算システムを開発した。XF15のCAD上で動作するため、ソフトを切り替える手間なく計算できることが特徴。結果は直ちにXF15に反映され、よりスムーズな構造設計が可能になる。非住宅木造の構造設計からプレカット加工までの一連の流れを合理化できるシステムとして普及を図る。

ソフトは「スピードル

X」（スペースドルフィンXF15）。エンジンに富士通Japanの「STRDESIGN（ストラデザイン）Ver.18」を搭載しており、日本住宅・木材技術センターの「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」（グレ一本）に準拠した構造計算ができる。

同社では木造軸組プ

非住宅対応の構造計算システム開発

XF15で動作、収まりの確認が可能に

ネットイーグル

CADとして活用してもらうことを目指している。規模の大きい非住宅は住宅以上に部材点数が多く、構造計算、プレカットのそれ

計の段階からXF15を使えば、構造計算から加工まで、そごなくデータが流れ、後工程を格段に効率化することができる。

め、加工データを作る段階で収まらずに設計に確認するということがなくなる」（同社）。同一物件で異なるメーカーの金物を併用して入力することも可能。CADの画面上に

部材の危険率を6段階で色分け表示する機能や、通りごとに安全率をグラフ化する機能、部材の検定値を表示する機能など、プレカットCADならではの機能も多数備えている。

レカットCAD「XS TARR」に対応する構造計算システムとして、同じくストラデザインのエンジンを搭載した「スペースドルフ

イン」を持つ。同ソフトと異なるのは、CAD組み込みシステムのためソフトを別に立ち上げる必要がないこと

に掛けられ、結果を反映できるため、操作性が格段に向上した。同社では、XF15を単なるプレカットCADではなく、構造設計

それぞれの段階で入力している」と手間と時間がかかるうえ、修正が入った場合の手戻りや承認の取り付けなどの業務が煩雑化する。基本設

目で見て確認しながら構造計算できる。「どの部位にどのくらいの応力が掛かり、どういう金物が必要かが視覚で確認できるた